

資料集

▶ (1) 聖学院大学ボランティア活動支援センター規程

聖学院大学ボランティア活動支援センター規程

(目的)

第1条 聖学院大学(以下「本学」という。)は、聖学院教育憲章内の「神を仰ぎ、人に仕う」、オンリーワン・フオー・アザーズ(他者のために生きる個人)、サーヴァント・リーダーシップなどの精神の具現化のため、キリスト教大学における教育活動の一環として推奨されるボランティア活動の普及に取り組み、本学における諸ボランティア活動を支援するために、聖学院大学ボランティア活動支援センター(以下「センター」という。)を設立する。

(組織)

第2条 センターの活動を円滑に展開するために、次の教職員を置く。

- (1) センター所長 1名
- (2) センター副所長 若干名
- (3) ボランティアコーディネーター及びアドバイザー 若干名
- (4) 事務職員 若干名
- (5) その他学長が大学教授会で指名した者

2 センターの運営は、第3項に規定する聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)によってなされ、センター所長が議長を務める。

3 運営委員会は以下の構成員から構成される。

- (1) センター所長
- (2) センター副所長
- (3) キリスト教センター所長
- (4) 大学チャプレン
- (5) 聖学院大学教授会代表(数名)
- (6) ボランティア諸団体代表(数名)
- (7) 聖学院大学学生スタッフ代表(数名)
- (8) 聖学院事務総局学事局長
- (9) キリスト教教育事業部長
- (10) ボランティアコーディネーター・アドバイザー
- (11) センター職員(ボランティア支援課長)
- (12) 学校法人聖学院内代表(数名)
- (13) 聖学院大学学長、総局長は必要に応じ陪席できるものとする。
- (14) その他、センター所長が必要と認める者

4 第1項第1号に規定されるセンター所長は、学長が指名する。

5 第1項第2号に規定されるセンター副所長は、所長が若干名を指名する。

6 第1項第3号に規定されるボランティアコーディネーター及びアドバイザーに関しては別に定める。

(事業)

第3条 センターは、第1条の目的を実現するために以下の事業を担当する。

- (1) キリスト教に基づくボランティア精神の育成と普及に関する事業
- (2) ボランティアの人材育成とその担保に関する事業

- (3) 学内の諸ボランティア活動の連絡、協力および支援に関する事業
- (4) 学外のボランティア情報の紹介とその活動の支援に関する事業
- (5) ボランティア基金の育成と経済的支援に関する事業
- (6) ボランティア活動の記録と広報に関する事業

(規程の改正)

第4条 この規程の改正は、大学教授会の議を経て理事会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、2013年4月1日から施行する。

▶ (2) ボランティア活動支援センター運営委員一覧(2015年度)

センター所長	阿部洋治	人間福祉学部チャプレン、人間福祉学科教授
センター副所長	平 修久	政治経済学部長、教授
	金谷京子	こども心理学科教授
運営委員	菊地 順	大学・学部チャプレン、コミュニティ政策学科教授
	山口 博	学校法人聖学院副院長、キリスト教センター所長
	小川隆夫	欧米文化学科特任講師
	清水 均	人文学部長、教授
	渡辺正人	こども心理学科教授
	西川 正	地域連携・教育センターアドバイザー
	大川愛加	学生サポートメンバー、コミュニティ政策学科3年
	金子朋寛	学生サポートメンバー、人間福祉学科2年
	大井恵子	学務部部長
	神吉乃三巳	地域連携・ボランティア支援課長
	川田虎男	ボランティア活動支援センターアドバイザー
	芦澤弘子	ボランティアコーディネーター
丸山阿子	ボランティアコーディネーター	

▶ (3) ボランティア活動支援センター運営委員会協議事項

第 35 回 聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会

日時：2015年5月6日（水）午後4時10分～5時00分迄

- ・「よいさっ！プロジェクト2」の実施の件
- ・ボランティア活動助成公開審査会実施の件
- ・ほたる祭り実行委員会の立ち上げ承認の件
- ・2015年度オープンキャンパス出展の件
- ・学生サポートメンバー（サボメン）養成講座の件

第 36 回 聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会

日時：2015年5月27日（水）午後3時20分～4時20分迄

- ・ボランティア活動保険の対象範囲と運用の件
- ・復興支援ボランティアスタディツアー予算残額と今後の計画の件

第 37 回 聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会

日時：2015年6月24日（水）午後3時20分～4時20分迄

- ・釜石フェスティバルの件

第 38 回 聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会

日時：2015年7月22日（水）午後3時20分～4時20分迄

- ・「復興支援ボランティア交通費補助」申請書審議の件

第 39 回 聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会

日時：2015年9月30日（水）午後3時20分～4時20分迄

- ・「復興支援ボランティア交通費補助」申請書審議の件

第 40 回 聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会

日時：2015年10月28日（水）午後3時20分～4時20分迄

- ・「釜石フェスティバル」当日の流れと役割の件
- ・常総市でのボランティア活動の件

第 41 回 聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会

日時：2015年11月25日（水）午後2時40分～3時30分迄

- ・2016年度ボランティア活動支援センター事業計画の件
- ・平成27年度大学間連携災害ボランティアシンポジウム学生参加の件

第 42 回 聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会

日時：2016年1月6日（水）午後3時20分～4時20分迄

- ・2016年度ボランティア活動支援センター事業計画・予算の件
- ・桜プロジェクトの件
- ・東日本大震災5年を覚えての3.11企画検討の件

第 43 回 聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会

日時：2016年1月27日（水）午後3時20分～4時20分迄

- ・2016年度ボランティア活動支援センター事業計画・予算の件
- ・東日本大震災5年を覚えている3.11企画検討の件

第 44 回 聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会

日時：2016年2月24日（水）午後3時20分～4時20分迄

- ・復興支援ボランティア交通費補助申請の件

第 45 回 聖学院大学ボランティア活動支援センター運営委員会

日時：2016年3月23日（水）午後3時20分～4時20分迄

- ・復興支援ボランティア交通費補助申請の件
- ・ボランティア活動助成事業公開審査会実施の件

▶(4)学生サポートメンバー養成講座実施レポート

第4期 サポメン養成講座第一回 報告

【サポメン養成講座とは？！】

学生サポートメンバー(通称:サポメン)は、ボランティアを実践している学生自身が、他の学生を巻き込み、ボランティア参加へのきっかけをつくと共に、学内外の学生ボランティアを盛り上げるための企画・運営を行うことが期待されています。

そのため、本講座ではサポメンとして必要となる基礎的な知識・技術を体験的に学び、終了後はサポメンとして活躍していけるよう支援していくものとします。同時に講座を通して、受講生同士・コーディネーター・他大学の学生との関係づくりも図っていきます。

実施日: 2015年5月30日(土)
13:00~17:00

場 所: 聖学院大学エルビスホール

参加者: 聖学院大学生 11名

立正大学生 17名

埼玉大学生 1名

明治学院大学生 1名

第一回「サポメン活動紹介&学生ボランティアネットワークの可能性と広がり」

今回は、他大学の学生スタッフにも多数お越し頂き、総勢30名の学生達で交流しました!

アイスブレイク: パースデーチェーン & 「自分を野菜に例えると?」



本センターの取り組み紹介&各大学学生スタッフによるボランティア活動紹介



後半は、「互いに活かし合う関係作り」のワークを取り入れながら交流の時をもちました。

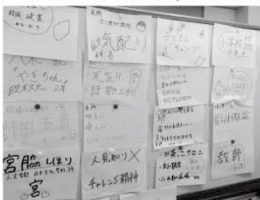
【参加学生の声】

- ・ 今日一日を通して、ボランティアだけじゃないうつながりが出た。
- ・ 自分のボラセンにないものを学べたので、持ち帰って活かしていきたい。
- ・ 仲間がいっぱい見つかった!
- ・ ボランティアを熱く語る機会がもてよかった。
- ・ つながる大切さと楽しさを実感した。「わかたまま」を復活させたい!

第4期 サポメン養成講座第二回 報告

第二回「改めて、ボランティアについて考える」

アイスブレイク: K P 法(紙芝居プレゼンテーション)を使った自己紹介



「想像と言葉」

カードゲームを使って、3つの単語から連想されるものを書き出し、頭を柔らかくする準備運動! みんなで頭を悩ませながらも、ユニークな意見が出たり、同じ意見が前ったり...



「ボランティアを漢字-文字で例えると?」

「ボランティア」というフレーズを聞いて、頭にイメージする漢字ってなんだろう? 今までの経験を含め、一人ずつ書き出した漢字とその理由を語っていきました。80近く漢字が出され、改めてボランティアの捉え方や多様性を感じた時



実施日: 2015年6月8日(月)
18:00~20:30

場 所: 聖学院大学エルビスホール

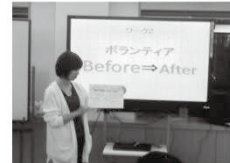
参加者: 9名

【参加学生の声】

- ・ みんなの考えが多様で、ここから色々なものが生まれてきそう。
- ・ 他のメンバーが出した漢字を見て、新たな気づきがあった。
- ・ 普段、中々ボランティアのことを考える時間がなかったので、振り返ることができてよい時間になった。
- ・ 自分もボランティアやってくるが、まだまだ行動力が足りないなと感じた。でも、自分の方向性を整理することができたと思う。

「ボランティアBefore&After」

「ボランティア」をする前と、した後で、自分自身どのような変化があっただろう? とんなきっかけでボランティアを始めただろう? 改めて振り返り、互いの変化を共有しました。



第4期 サポメン養成講座第三回 報告

第三回「コーディネーター実践」

実施日：2015年6月15日（月）
18:00～20:30
場 所：聖学院大学エルビスホール
参加者：12名

アイスブレイク：この三人が組んだら？

それぞれが出来る事を紙に1つ書き、集まった3人の出来る事を活かして
どんなことが出来るか話し合い、それぞれのグループで発表！！
あるチームは、「教える×料理×寝る」→快眠に導く料理教室 が誕生★
など、個性を掛け合わせることで新しいものを生み出す楽しみを味わいました。



ワーク1「LOVE ボランティア VS アンチボランティア」ディベート合戦！

ボランティアの魅力を広めていく上で、ボランティアをしない方々の意識や思考を知ることは大切です。ボランティア肯定派と否定派に分かれ、互いにチーム内で作戦会議をしてから考えを論理的根拠に基づき、ディベート合戦スタート！！
簡潔にまとめる力を養いつつ、ボランティアを多角的に捉える練習をしました。



ワーク2「コーディネーター実践～ロールプレイ～」

コーディネーター役、学生役（最初の一步を踏み出せずにいるが夏休みにボランティアに行きたいと思っている）、観察者役の3人1グループでロールプレイを体験しました。
パーソナルスペースを確認するところからスタートし、3分相談のり、1分で観察者役から気づいたことなどをフィードバックして全員がすべての役を体験しました。
これから自分なりの（学生コーディネーターだからできる関わり方）を考えていきましょう♪



第4期 サポメン養成講座第四回 報告

第四回「学内・外のボランティア活動を知る」

～ボランティア活動助成金交付審査会&ドネーションパーティ運営体験～

実施日：2015年6月27日（土）
10:00～17:30
場 所：4401教室
参加者：4期生6名

同日に開催されたボランティア活動助成金公開審査会の運営サポートをしながら、学内でボランティア活動に取り組む11団体の発表を聞き、どのような活動があるのかを学ぶと共に、後半の交流会では地域のキーパーソン存在の方々のご来場くださっていたので、交流シートを活用しながら語らいの時を持ちました。

サポメンとしては、ただ発表を聴くだけでなく、運営フォローも体験。
①受付 ②タイムキーパー ③出場団体の誘導 ④投票結果発表の手伝い
⑤交流会の準備・進行 などを担当しました。

また、交流会で交流した相手の団体概要や、その活動をどう学生に紹介できるかを感想シートに記入していききました。



第4期 サポメン養成講座第五回 報告

第五回「学生サポートメンバーとしてできること、やりたいこと」

第五回では、これまで学んできたことを踏まえ、ワークを実施しました。

「ボラセン・サポメンに期待されていること」「サポメンとしてボランティアを広める上で課題だと思うこと」「サポメンとしてできること・やりたいこと」をテーマに、3つのワークに挑戦！1 ワークに一人ずつ進行役の学生を立て、全員で協力しながらアイデアを出し合いました。

内容：講座内容の振り返り

3つのニーズ！（社会が求めること、自分のできること、自分のやりたいこと）

ワーク1「ボラセン・サポメンに期待されていること」

ワーク2「サポメンとしてボランティアを広める上で課題だと思うこと」

ワーク3「サポメンとしてやりたいこと、できること」

養成講座も今年で4年目となりますが、毎回この回を行うたび、どんなアイデアが生まれるんだろう、とドキドキワクワクします。今回も、たくさんのアイデアが出ました。なかにはなかなか斬新なものもありました。今後はこのアイデアをもとに、サポメン！として活動計画を練っていきます。秋学期の展開が楽しみです♪



実施日：2015年6月29日（月）

18:00～20:30

場 所：エルビスホール

参加者：9名

第4期 サポメン養成講座特別編 報告

特別編「意見を引き出す力&企画を立てる力をつける」

特別編では、サポメンだけでなく、各団体でグループワークの進行を担う学生達が受講してくれました。

AM～ファシリテーションについて学ぶ～

「ファシリテーションとは？」

◎時間を守って進行する（時間管理）

◎公平に発言機会を確保する（公平さ）

◎課題解決はえて、論理に論点を絞る【論議力】



「ファシリテーターとは？」

◎ファシリテーションを心がけながら話し合いを進行する人

ファシリテーションのポイントを、実例を交えての解説と、

スキットを体験しながら学びました。



ファシリテーショングラフィック（板書）のコツ

横線はへの記入の仕方、マーカーの色の使い分けなどを学びました。

ワーク①「塾学教人学のキャッチフレーズを考えよう」

これまでのレクチャーを忘れず、グループになって塾学教大学の強み、弱みについて話し合い、それぞれにキャッチフレーズを作りました。

・小さいけど、大きい大学

・新しいことに 挑戦し 変わる大学

…など意気込みが素晴らしい素晴らしいアイデアが出てきました！

PM～企画を立てる力をつける～

「企画を立てる力について」

巨崎さんの関わっている企業の課題の事例を用いて、流れの作り方や企画を進めるためのチームマネジメントについて学びました。

ワーク②「企画を考える」

所属団体毎にグループになり、ワークの題材となる企画を決定した後、題材となった企業の「目的」「内容」「ターゲット」「人員・財源」について話し合う。その結果を各団体に発表しました。



具体的なファシリテーションスキルを学ぶと同時に、実践を通して企画をまとめる経験をすることで、各自が自分の団体へ特色あるスキルを習得することができました！今回学んだスキルが各活動で活かされるよう引き続きサポートしていきたいと思っております♪

実施日：2015年7月18日（土）

10:00～16:00

場 所：2401教室

参加者：21名

講師：市民社会パートナーズ 代表 庄嶋孝広氏

▶(5)メディア出演・掲載

■復興釜石新聞：2015年4月22日(水)発行

未著作権の都合により、記事非掲載

■三陸ブロードネット「ウィークリーダイジェスト」2015年4月22日(水)放送
復興支援ボランティアスタディツアー「桜プロジェクト4」の様子について紹介された。

未著作権の都合により、記事非掲載

■埼玉新聞：2015年5月5日(火)発行

未著作権の都合により、記事非掲載

■埼玉新聞：2015年5月6日(水)発行

未著作権の都合により、記事非掲載

■復興釜石新聞：2015年8月19日(水)発行

未著作権の都合により、記事非掲載

■J:COM さいたま「デイリーニュース」2015年11月2日(月)放送
学園祭(ヴェリタス祭)のなかで開催した「釜石フェスティバル」の様子について紹介された。

■テレビ埼玉「ごごたま」「ニュース 930」2015年11月3日(火)放送
学園祭(ヴェリタス祭)のなかで開催した「釜石フェスティバル」の様子について紹介された。

■埼玉新聞：2015年11月11日(水)発行

未著作権の都合により、記事非掲載

■読売新聞：2015年11月12日(木)発行

未著作権の都合により、記事非掲載

■復興釜石新聞：2015年12月12日(土)発行

未著作権の都合により、記事非掲載

■埼玉新聞：2016年1月20日(水)発行

未著作権の都合により、記事非掲載

■埼玉新聞：2016年1月25日(月)発行

未著作権の都合により、記事非掲載

■NHK おはよう日本 2016年3月21日(月)

「被災地を継続支援 担い手は大学生」というタイトルで本学で1年生の時から4年間にわたり復興支援ボランティアを続けてきたこども心理学科4年藤川友帆さんの歩みや釜石の方々とのふれあいの様子が紹介されました。

■埼玉新聞：2016年3月22日(火)発行

未著作権の都合により、記事非掲載

▶(6)広報ポスター各種

■学生サポートメンバー養成講座

聖学院のボランティア活動を盛り上げよう!
「ボランティア活動に貢献する人」になる!

学生サポートメンバー(サポメン!) 養成講座 受講者募集!!

ボランティア活動支援センターではコーディネーターと協力し、ボランティア活動と学生の架け橋となる「学生サポートメンバー(サポメン!)」として活動するための養成講座を実施します。
「ボランティア活動を応援するボランティア」に関心のある皆さんの受講をお待ちしています!

■サポメン!の活動内容(例)

- ・ボランティア活動の相談に応じる
- ・ボランティア活動先を紹介する
- ・ボランティアの魅力を発信する(紹介冊子の発行、ポラ!inの実施など)
- ・他大学の学生との情報交換
- などなど...

活動は、サポメン!自身で決まられます

■場所
説明会～第6回:エルビスホール
第4回のみ:400教室

■参加条件
・今までに何かしらのボランティア経験がある
・ボランティア活動を広めたいと思っている
・企画の運営に関わった経験がある
・ボランティア団体や活動のリーダー経験がある

■定員 10名

■講座スケジュール

回	日	時	内 容
説明会	5月25日(月)	18:00~19:00	学生サポートメンバーに期待すること 身体め 講座の概要説明など
第1回	5月30日(土)	13:00~17:00	「学生サポートメンバーの活動紹介」 「学生ボランティアネットワークの可能性と広がり」
第2回	6月 8日(月)	18:00~20:30	改めて「ボランティア」について考える
第3回	6月15日(月)	18:00~20:30	「コーディネーターの役割と実践」
第4回	6月27日(土)	13:00~17:00	「学内・外のボランティア活動を知る」
第5回	6月29日(月)	18:00~20:30	「学生サポートメンバーとしてできること、やりたいこと」
第6回	7月18日(土)	10:00~16:00	「みんなの想いを引き出す力と企画を立てる力をつける」 講師:市民会社・パートナーズ 圧崎孝広氏

サポメン!として活動開始!

※受講に関するお問い合わせは申込書 ボランティア活動支援センターまで
TEL:048-780-1705 E-mail:vol@seigakuin-univ.ac.jp

■「命をいただくということ」

命をいただくということ

ぼくが豚のようにして
お肉になるのを知ってる?

～食肉市場勉強会と見学会～

毎日のように食べる「お肉」には、動物たちの生命と、それらを食卓まで届けてくれる人の存在が不可欠です。しかし、日々精肉された商品に囲まれて生活している私たちは、その存在を忘れてしまいがちです。食肉に関わる仕事は、長く差別別職種に生かされ差別を受けている人たちが担ってきており、卑しい仕事として位置づけられてきました。ボランティア活動の原点は、生命の尊さを、人権を尊重することにあります。食肉市場の勉強会と見学会を通じて、「命」「人権」について一緒に学びませんか。

■日時
1日目(勉強会):8月21日(金)14:00~17:00
集会 JR 品川駅中央改札前時計台
～食肉市場で働かれている職員さんとお話をいただきます

2日目(見学会):8月27日(木)8:00~13:00
集会 JR 品川駅中央改札前時計台
～食肉市場を見学します

■場所 東京都中央卸売市場食肉市場(東京都港区港南2-7-19)

■参加費 無料

■問合せ・申込み(主催)は 聖学院大学 ボランティア活動支援センター
(大学:号館 2103 もしくは インターネットカフェ まで)
TEL:048-780-1705 E-mail:vol@seigakuin-univ.ac.jp

食肉市場勉強会と見学会参加申込

名前: _____ 学籍番号: _____
携帯電話番号: _____
E-Mailアドレス: _____

■新歓ボラ Tea (学生サポートメンバー作成)

聖学院大学のボランティアを愛する者達が送る……

新歓ボラTea

開★催★案★内

新入生のみならず、入学あめでどうぞございます。
大學生になったら、やってみたいこと、挑戦したいことたくさんあると思います。
聖学院ではボランティア活動が盛んです。是非、新入生のみならず一緒に活動しませんか?
新歓ボラ Tea では聖学院生が活躍する学内、学外のボランティア団体を紹介します!!

その1歩が大きな奇跡を起こす!!

開催日時:4月10日(金) 18:00~20:00
出入り自由!(*^*)!申込不要(*^*)!

場 所:エルビス食堂
内 容:聖学院生が活躍する学内、学外のボランティア団体による活動紹介
参加団体:ボランティア・アソシエーション、復興支援ボランティアチーム(SAVE)、
ホテル祭り実行委員会、東南アジアボランティア部 Rung、Heartand smile、
学生サポートメンバー(サポメン!)、100km 徒歩の旅

エルビス食堂で、待ってるよ!by サポメンジャー

主 催:聖学院大学ボランティア活動支援センター 学生サポートメンバー(サポメン!) / 協 力:聖学院大学ボランティア活動支援センター

■ボラ Tea (学生サポートメンバー作成)

ボランティア活動支援センター&サポメン!主催

小さな一歩が大きく広がる! ボラ Tea

新年度が始まり、あっという間に3ヶ月が経ちました。大學生の身体は2ヶ月間!ちょっとだけ、ボランティアやってみませんか?「ボラ Tea」では、「ボランティアやってみようかな...」「どんな活動について知りたいたい!」等々、ボランティアに興味があるあなたの一歩を応援します!当日は、色々なボランティア団体の活動を知ることができます!お菓子を食べながら、一緒に興味のある活動、見つけよう!

開 催 案 内

日 時:7月3日(金) 18:00~20:00
場 所:エルビス食堂
内 容:学内・学外のボランティア団体によるブースごとの活動紹介
対 象:学科学年問わず、どなたでも気軽に参加してください☆
出入り自由!事前申し込み不要です(*^*)!

参加団体

学 内	学 外
グレイス	みそひの森
手話	紙ひこうき
ハート&スマイル	コスモスアース
ひよこプロジェクト	CFP
ホテル	
ボラフェス	
STEP	
SAVE	
RUNG	

君に会えるのを
楽しみにしているよ!

問合せ 聖学院大学ボランティア活動支援センター (2号館 2103教室、インターネットカフェ)
TEL:048-780-1705 E-mail:vol@seigakuin-univ.ac.jp

■復興支援ボランティアスタディツアー
「桜プロジェクト4」

復興支援ボランティアスタディツアー
「桜プロジェクト4」
参加者募集!!



聖学院大学は、岩手県盛岡市で、継続的に復興支援活動を行っています。
「桜プロジェクト」は、聖学院大学復興支援ボランティアチーム【SAVE】の学生
発案により2012年から始まった、益寿館のプレゼントを中心とした活動です。
みんなで東北に春を、あそびを、届けよう!

■日程: 2015年4月17日(金)夜~19日(日)夜

■募集定員: 30名 ※定員に達した際、初めての人を優先します

■申込み受付開始: 3月30日(月)

■一次締切枠(在学生対象): 4月10日(金)締切

■二次締切枠(新入生対象): 4月13日(月)締切

■活動内容: 被災地見学、桜の盆栽の配布、子どもあそびひろばの運営、津波伝承の駆け上がり体験などを予定

■参加費: 9,000円 (内訳: 宿泊費、交通費、食費(5食分)等)
※前年度のボランティア活動保険に未加入の方は、別途保険料650円が必要です。

■申込方法: 所定の参加申込書に必要事項を記入の上、参加費を添えてボランティア活動支援センター(8号館2103教室)にて申し込みください。
※参加申込書は、ボランティア活動支援センターで配付しています。

★桜プロジェクト4について知りたいことがあれば、気軽にボランティア活動支援センターまでお越しください!★

主催 聖学院大学ボランティア活動支援センター 復興支援ボランティアチーム【SAVE】
協力 鶴巻西地区生活福祉センター 一般社団法人三陸ひとづな自然学校 後援 盛岡市

■復興支援ボランティアスタディツアー
「よいさっ!プロジェクト2」

夏の復興支援ボランティアスタディツアー
よいさっ!プロジェクト2
参加者募集中!!



自分たちができることは何だろう。釜石の地で考えよう。

■日程: 事前学習会 2015年8月5日(水)10:00~15:00
ツアー 8月6日(木)朝~9日(日)日夜4日間

■募集定員: 30名 ■申込み受付開始: 7月1日(水)

■締切: 7月17日(金) ※定員に達した際、初めての人を優先します。

■活動内容: 被災地見学(宮城県・岩手県)、震災学習別冊集、釜石よいさ(夏祭り)への参加
「かまこもあそびーらんど(子どもあそびひろば)の運営 他(予定)

■参加費: 15,000円 (内訳: 宿泊費、交通費、食費(8食分)等)
※ボランティア活動保険に未加入の方は、別途保険料650円が必要です。

■申込方法: 所定の参加申込書に必要事項を記入の上、参加費を添えてボランティア活動支援センター(8号館2103教室)にて申し込みください。※参加申込書は、ボランティア活動支援センターで配付しています。

■その他: この夏のプロジェクトには、聖学院高校、埼玉立常盤高等学校の生徒も参加します。

★よいさっ!プロジェクト2について知りたいことがあれば、気軽にボランティア活動支援センターまでお越しください!★

主催 聖学院大学ボランティア活動支援センター 内閣 復興支援ボランティアチーム【SAVE】、埼玉立常盤高等学校、聖学院高校
協力 一般社団法人三陸ひとづな自然学校 後援 盛岡市(予定)

■復興支援ボランティアスタディツアー
「サンタプロジェクト5」

聖学院大学 復興支援ボランティアスタディツアー
サンタプロジェクト5
参加者募集中!!



聖学院大学は、岩手県盛岡市で、継続的に復興支援活動を行っています。
今年も2011年の春から毎年継続して行っている釜石のみなさまに笑顔のクリスマスをお届けする
「サンタプロジェクト」を発案しました。学生主体で、子どもクリスマス会、釜石のみなさんと交流しよう!
として、2011年3月11日に結成された復興委員会、

自分たちができることは何か、釜石の地で考えよう。

■実施期間: 2015年12月4日(金)~12月6日(日)
12月4日(金)19:30聖学院大学集合~12月6日(日)21:30盛岡大宮駅乗車予定

■募集定員: 30名 ■申込み受付開始: 10月26日(月)

■締切: 11月18日(水) ※定員に達した際、初めての人を優先します。

■活動内容: 被災地見学、地元のお母さんとおむすびの郷土料理作り、釜石の方との交流、子どもクリスマス会の運営など(予定)

■参加費: 旅前宿泊プラン12,000円 (内訳: 宿泊費、交通費、食費(5食分)等)
おむすび宿泊 7,500円 (内訳: 宿泊費、交通費、食費(4食分)等) ※保険料のみ680円
※ボランティア活動保険に未加入の方は、別途保険料650円が必要です。

■申込方法: 所定の参加申込書に必要事項を記入の上、参加費を添えてボランティア活動支援センター(8号館1階)にて申し込みください。※参加申込書は、ボランティア活動支援センターで配付しています。

★サンタプロジェクト5について知りたいことがあれば、気軽にボランティア活動支援センターまでお越しください!★

主催 聖学院大学ボランティア活動支援センター 内閣 復興支援ボランティアチーム【SAVE】
協力 一般社団法人三陸ひとづな自然学校、鶴巻西地区生活福祉センター 後援 盛岡市(予定)

■「釜石フェスティバル」(実行委員作成)

聖学院大学
釜石フェスティバル
~ 3.11 からの心づな ~

釜石を知る! 味わう! 出逢う!

聖学院大学は、2011年春の若年釜石青年において復興支援活動を継続的に、といっています。参加者は学生、釜石の人々、岩手、食の文化、天候に合わせたイベントです。そんな釜石の魅力を皆さんに紹介したい! という思いからこの「釜石フェスティバル」を開催することにしました。釜石の魅力を皆さんに紹介したい! という思いからこの「釜石フェスティバル」を開催することにしました。釜石の魅力を皆さんに紹介したい!

9月2日(月) 模擬店・活動展示 10:00~15:00

9月3日(火・祝) 模擬店・活動展示 10:00~14:00
講演会 14:00~15:30

講演会 テーマ: 復興、復興が変える場所があります。

希望の方向 ~ 困難の心からスタート ~
講師: 石田角先生(東京大学社会学部研究員教授)
ゲスト: 岩崎裕子氏(外部「釜石館」実行委員長)

模擬店 2号館前スペース “釜石風情”

- 三陸FMを使用し、釜石FM
- 11月3日には釜石大復興支援研究委員会のお母さんたちが活躍中!
- “いっしょに” “釜石の心” “みんなが” “釜石の心”
- 山の手・海の手・釜石の心

活動の展示 2号館4階 2403教室

- 復興支援センター「2号館4階」開館展示
- 釜石立常盤高等学校活動展示・釜石立常盤高等学校の復興支援活動展示
- 釜石の魅力を皆さんに紹介したい!

聖学院大学ボランティア活動支援センター
TEL: 048-780-1165 Mail: vol-sat@seigakuin-univ.ac.jp

講演会/主催: 聖学院大学経済学部、聖学院大学ボランティア活動支援センター
後援: 釜石市

釜石フェスティバル/主催: 釜石FM、ボランティア活動支援センター 後援: 釜石市

釜石フェスティバル/主催: 釜石FM、ボランティア活動支援センター 後援: 釜石市

■「夏のボランティアプログラム」紹介キャンペーン告知

新しい自分に、会いに行く。

夏の"ちょっと"ボランティア体験プログラム 紹介キャンペーン

長い夏休み！
ボランティア活動で、自分の可能性を探してみませんか？

社会福祉協議会の「夏のボランティア体験プログラム」の紹介をはじめ、様々なエリアから分野を問わず、沢山のボランティア情報が揃っています。

コーディネーターや学生サポートメンバー（サポメン）が、あなたにピッタリの活動をご紹介します♪

▽活動希望者は、是非相談に来てください▽

例えば…

- 障がいのある子どもと関わる活動
 - ・作業場でフリース作り
 - ・みんなで手紙ダンス
 - ・スポーツチームのサポート
- 地域を支援する
 - ・地元のおさんと森の整備
 - ・介助者の様を取り作業
 - ・特別イベントの準備
- 高齢者の方と関わる活動
 - ・話し相手になる
 - ・外出サポート
 - ・会費活動と共に楽しむ
- 子どもと関わる活動
 - ・児童館や保育園で遊び相手になる
 - ・キャンプの引率
 - ・イベントで盛り盛り参加！

海外でボランティアしてみたい方にオススメのプログラムも紹介中！

7月3日（金）スタート！

相談窓口：インターネットカフェ（エルビスビル）
相談時間：12:10～16:30

※夏休み期間中は、2103教室（ボランティア活動センター）で相談にのります。9:00～17:00いつでもお気軽にご相談ください！

聖学院大学ボランティア活動支援センター

■「ボラフェス2015」開催案内

ボラフェス2015

～広げよう!!!笑顔の輪～

日時：11月2日（月） 10:00～15:00
11月3日（火・祝）10:00～15:00

場所：聖学院大学エルビス食堂（エルビス館1階）

■ みんなでつくろう！エコキャップアート ■
学内で回収しているペットボトルのキャップを使って、大きな絵をつくります！みんなでキャップアートを完成させよう♪

■ 地域の福祉施設さんによる手作り商品の販売＆ボランティア募集 ■
いつもボランティア活動でお世話になっている地域の福祉施設さんをお招きして、手作り商品の販売や実演、ボランティア募集などを行います♪

■ 児童虐待防止キャンペーン～オレンジリボン運動～ ■
オレンジリボン運動の普及・啓発活動に合わせて、児童虐待について学んだことを展示します。是非ご覧ください。

■ こどもおぼえコーナー ■
音感かしの「めざてゲーム」や、「型ぬき」に挑戦！！
こども達、そしてこどもをもちた大人のみならず是非！

一緒に楽しみましょう♪ お待ちしています♡



主催：ボラフェス2015実行委員会 / 協力：聖学院大学ボランティア活動支援センター

■オープンキャンパス「ボランティア活動紹介コーナー」開催案内

Hope	Fun
Support	Encounter
Love	Exchange
Change	Care
	Smile

詳しくは裏面に→

**「変わったね(ー)!!」と言われる
学生生活を送ろう!!**

2号館1階2108教室でボランティア活動紹介コーナー開設★是非立ち寄ってみてね!!

私たちがお案内します!!

聖学院大学ボランティア活動支援センター
Sagaku University Volunteer Support Center

★聖学院大学には「ボランティア活動支援センター」があります！

聖学院大学ボランティア活動支援センターは、「神を敬ぶ、人に仕へる」という建学の精神を実現する機関として、2012年4月に設置されました。埼玉県の大学ではまだ珍しい、専門職であるコーディネーターが、学生一人一人にあったボランティア活動をつなぎ、地域への貢献と共に学生の成長を応援しています。

★なぜ大学でボランティア？ - 学生に聞いてみました -

「ボランティア活動を通して自分自身を知りたい。ゼロから生み出す活動ができる！」
一人 経済学部 4年 尾野 早百合さん
高校以来大学のボランティア活動が好きです。自分でも考えたことには中々行動に移すことが出来ず、ボランティア活動を通して自分を試したい。ボランティア活動を通して、地域の子育て支援や環境活動など、自分自身で社会貢献したい。ボランティア活動を通して、自分自身で社会貢献したい。

「活動を通して自分自身を知りたい。それは得意(強み)を高める一歩になる！」
一人 経済学部 4年 渡野 早百合さん
ボランティア活動を通して、自分の強みを知りたい。ボランティア活動を通して、自分の強みを知りたい。ボランティア活動を通して、自分の強みを知りたい。

「ボランティア活動を通して自分自身を知りたい。それは得意(強み)を高める一歩になる！」
一人 経済学部 4年 渡野 早百合さん
ボランティア活動を通して、自分の強みを知りたい。ボランティア活動を通して、自分の強みを知りたい。ボランティア活動を通して、自分の強みを知りたい。

★ボランティア活動支援センターから広がるミライ

- あなたの「やりたいこと」を一緒に探してお手伝いします！
ボランティア活動支援センターは、専門のコーディネーターが一人一人の「やりたいこと」を聞き出し、数あるボランティア活動の中からあなたに合った活動を紹介いたします。
- あなたの「思い・思い」を大切にしてお手伝いします！
大学生のボランティア活動の特徴は、世間から活動を作り上げること、大変なけれどやりがいがあります。あなたの思い・思いを大切にしながらサポートいたします。
- あなたの一緒に活動する先輩や仲間がたくやいます！
聖学院大学では、センターが主催するボランティア活動があります。未経験の人でも、学生サポートメンバー（サポメン）やボランティアが丁寧に対応してくれるので安心して活動に参加できます。

来て！見て！聞いて！感じてみよう！
「ボランティア活動紹介コーナー」へ Let's go!!!

聖学院大学ボランティア活動支援センター
TEL: 048-780-1705 E-Mail: vol-sap@sagaku-u.ac.jp URL: http://seig-vc.jcom/